

規範項目 27

環境

労働

安全な草刈りの実施

地域の環境保全のために、畦畔や農地の法面の草刈りは重要な作業です。草刈作業は、作業者の安全性を確保し、刈草の処理についても十分配慮することが必要です。

取組事項

- ・ 安全確保のため、草刈前に現場の状況を把握する。
- ・ 防護具を着用し、安全な操作方法で草刈機を使用する。
- ・ 刈草を用排水路に流さない。

草刈りは、雑草地からの害虫の移動や周辺住民へ迷惑にならないよう刈草の処理に配慮するとともに、安全な操作方法で草刈機を使用することが必要です。

【作業現場の安全確認】

作業前に、石や空き缶など、作業者や周囲に危害を与えるものが放置されていないことを点検するなど、現場の安全を確認しましょう。

作業時には、裾・袖口が締まっている作業服や保護めがね、すね当てなど、適切な服装、保護具を着用しましょう。

2人以上で作業をする場合は、常にお互いの距離を保ちましょう。

法面や傾斜地での事故が多く発生しています。滑らないようスパイクがついた靴を使用するとともに、足場を確保しながら、等高線方向に安定した姿勢を確保して作業を行いましょう。また、危険箇所では、草刈機を使用せずに手刈りすることも必要です。さらに、法面や傾斜地に階段を設けることも検討しましょう。

【防護具等の活用】

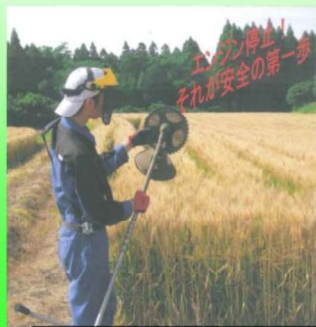
草刈機を長時間使用すると、その振動で手指の血行障害や、騒音で難聴などを引き起こす可能性が指摘されています。長時間の作業は避け、防振手袋や高音部のみ遮音する耳栓などの防護具を装着しましょう。

また、転倒時など緊急時に手を離すと、回転速度が下がり刃が止まる、動力遮断装置が搭載された機種を積極的に利用しましょう。

【刈草の適正な処理】

刈草を川や用排水路に流すと、下流域の人の水利用や生活に影響を与えるので絶対にやめましょう。

刈払機の適正な使用を！



刈払作業中の事故

- 竹にあたった刃が跳ねて、右足を受傷
- 飛散した植物の破片により右目を受傷
- エンジンを切らずに絡まった草を取り除こうとした際、手を受傷

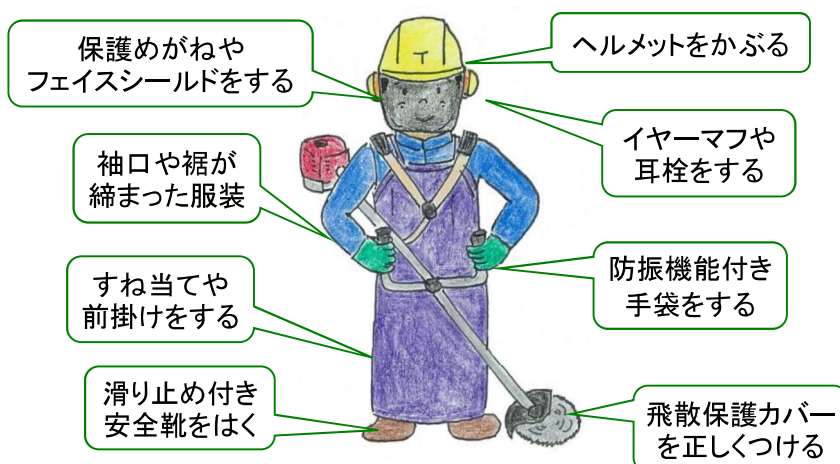
事故防止のため、次の点を必ず守りましょう

- ✓ 取り扱い説明書を読みましょう。
- ✓ 保護具を身につけましょう。
保護眼鏡、ヘルメット、安全靴、すねあて、作業手袋（軍手×）等
- ✓ 肩掛けバンドを装着しましょう。
適正な長さで装着すると、転倒した際、刈刃が身体に触れにくくなります
- ✓ 周囲に人がいないことを確認しましょう。
- ✓ 高所の枝払いなど、目的外使用はやめましょう。
- ✓ 刈る草が柔らかい場合や、構造物周辺での作業では、ナイロンカッターを使用しましょう。
- ✓ 刃に草や異物が詰まったときはエンジンを停止する、バッテリーを外す等の対策をとりましょう。

図 草刈機の適正使用の啓発チラシ

出典：農林水産省資料

草刈機作業時時の服装



【根拠法令等】

- ・労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- ・農作業安全のための指針（平成13年度農林水産省公表）
- ・農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（共通規範）（令和2年度農林水産省公表）

